

## <第一日目>

第一分科会に出席しました。岐阜県輪之内町立輪之内中学校 PTA の研究発表『見直そう！家庭の力』と、石川県野々内市立御園小学校 PTA の研究発表『親子とともに学ぶ家庭教育』でした。

輪之内中学校では、PTA 活動を「楽しむ！」をスローガンとして、①親子で取り組む食育として親子クッキングを実施。また「我が家のレシピ」を募集し学校内に掲示。②親子で考える情報モラルと題して、夏休み期間中に親子で情報機器に関する新聞記事を集めさせると同時に、それらについて親子で話しあい、各家庭の感想を述べる。それらの結果、家庭での親子の時間の共有、または共に成長することに貢献できたのではないかということでした。

一方、御園小学校では、親子で郷土愛を育むねらいで、校区内にある縄文遺跡を題材に「みそのジョーモピア」と称し、学年ごとに楽器や歌、紙芝居などをつくり発表会を催し、親子ともに学びながら楽しい時間を共有した。また、スマホやタブレットへのフィルタリングの実態調査を行った結果、認知度そのものが低いことがわかり、フィルタリングを無料設定する窓口を紹介したり、実施講習を開いた。また情報機器を使用するにあたり、親子で各家庭のルールをつくる活動も始めた。これらの活動を通して、親子で地域の特色や防犯について学ぶ機会としたそうです。

また後半のパネルディスカッションでは、子どもは親の背中を見て育つということのを忘れずに、より良い家庭環境づくりや、我々保護者も学ぶことが大切ということでした。

## 一日目を終えて

日々の PTA 活動が、保護者の負担にならないようにと簡略化され、ともすれば受け身でしかない我々保護者の姿勢があるなかで、保護者としての責任をもち、子どもたちにより良い環境を与えたいと実践努力された両者の方々の姿を見て、改めて、学校に頼りきりの教育ではなく、保護者が能動的に教育に参加しようという姿勢をもつことが大切なのではないかと思いました。

## <2日目>

オープニングは小松市立御幸中学校生徒による「こまつ勸進帳連」の上演。子ども達の息のあった演奏は圧巻で感動しました。

その後、記念講演が行われました。

講師 山崎直子氏（元 J A X A 宇宙飛行士）

「宇宙、人、夢をつなぐ 未来を担う子どもたちのために」

山崎さんは宇宙飛行士としての訓練を 1999 年から開始して、シャトルディスカバリー号に搭乗するまで 11 年かかり、その中でも宇宙に行けるという保証はなく、いつ行けるかも分からない状態で訓練していたそうです。訓練をはじめて 4 年目にコロンビアの爆発事故が起きて先行きが不透明になり、それが一番悩んだ時期だそうです。

日本人初のママさん宇宙飛行士…過酷な訓練を行いながら、同時に子育てもこなしたすばらしい女性。宇宙は遠い存在ではなく身近なもの。人生は未知なことが多く、楽しいことばかりではないけれど、諦めずに夢に向かって進んでいくことは決して無駄にならない。と、夢を持ち努力することの大切さ、今しかできないことに一所懸命取り組むことの大切さを語ってくださいました。

最後の質疑応答の時間、ステージからおりて、質問する方の近くで、目と目を合わせながら丁寧に質問に答えていたのが印象的でした。